

「観光レジリエンスサミット」開催記念 第1回

観光危機管理ワークショップ

～観光・宿泊事業の災害への備えを学ぶ～

日時 2024年 **7月17日(水)**
13:30 ~ 16:00

場所 TKPガーデンシティ
PREMIUM仙台西口
カンファレンスルーム7H

対象 仙台市内の
観光関連事業者、
観光関連団体 など

本年11月に仙台市において、観光分野の強靱性・回復力をテーマとした国際会議「観光レジリエンスサミット」が開催されることを記念し、観光業に携わる民間事業者様に向けた観光危機管理やBCPについて学ぶワークショップを開催いたします。

このワークショップでは、BCP作成の講座のほか、災害時に役立つアプリ等の情報や災害時の経験を紹介し、民間事業者様のこれからの災害への備えに役立てることを予定しております。

また、本市で策定中の観光危機発生時の観光客等への対応をまとめた「観光危機管理マニュアル」について、民間の視点からご意見を頂戴したいと考えております。

是非、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



プログラム

1. 主催者挨拶 (仙台市文化観光局観光交流部)
2. テーマ1：観光危機管理の重要性
～行政、事業者等との役割分担～
3. テーマ2：災害に備える事業継続計画
(BCP) のすすめ
4. 意見交換

お申し込み方法

以下のURL、二次元コードよりお申込みください。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1718070871612>



申込〆切
7月12日(金)

講師紹介



観光レジリエンス研究所

代表 高松 正人 氏

1982年、株式会社日本交通公社(現JTB)入社。株式会社ツーリズム・マーケティング研究所代表取締役社長、JTB総合研究所常務取締役を経て、2020年より現職。日本における観光危機管理の第一人者として国内外の観光危機管理や観光復興関係業務に数多く関わる。国連防災機関(UNDRR)の民間ネットワークARISEの日本代表。観光庁持続可能な観光推進事業アドバイザー、APTECサステイナブルツーリズム委員会等、持続可能な観光の推進にも携わる。

次回以降のご案内 (全3回)

	時期	テーマ
第2回	8月下旬	訪日外国人向け災害情報提供アプリや、災害時の情報集約プラットフォームの活用方法を学ぶ
第3回	9月下旬	能登半島地震の経験と課題から私たちができる備えを学ぶ

このほか、BCPの添削講座や、仙台市で作成する観光危機管理マニュアルについての意見交換会を行います。講師の高松氏のほか、災害への備えについて先進的に取り組んでいる事業者等を交え、情報共有の場を設けます。

※6月末時点の予定であり、変更の可能性があります。